

「湘南国際村めぐりの森」と「高尾小仏の森」二つの植樹祭

International Association for Restoration of Native Forest

NPO法人 国際ふるさとの森づくり協会
 名誉理事長 高野義武（2021年逝去）
 理事長 高橋秀行

§ 1・生い立ちと理念

レナフォ設立者の一人、高野義武は元国土交通省の土木技術者であり、長年道路の建設に携わってきた。道路公害を心配する沿道住民から強い反対に会う中で彼には反対する人々の気持ちがよく理解できた。「環境保全対策は無いものか」と悩んでいた時、宮脇昭横浜国立大学教授（当時）の講演「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を聞き、「これだ！」と心で叫んだ。以来、宮脇先生等の植生生態学専門家の助言・指導を頂きながら国道櫃原バイパス、長野オリンピック関連事業など多くの「ふるさとの森づくり」を実施。一方、長年にわたりJACAの研修で宮脇方式を講演した。2008年NPO法人国際ふるさとの森づくり協会（レナフォ）を設立。名付け親は宮脇昭先生。レナフォは「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を一筋に愚直に実践推進するNPO法人である。



ロゴマークは
タブノ葉



名誉理事長動画

§ 2・自然林再生専門家研修

地球温暖化の危機を迎えて、人類が破壊し続けてきた自然林を再生することが、今なすべき行動の一つであると考えます。宮脇メソッドに基づく植樹であること。そのためには、哲学から現場技術まで一貫して身につける必要があります。植樹の指導者となる資格である。今までに13回実施され171人の「植生工学士」が誕生した。その中には、東日本大震災の被災地で森の防潮堤づくりを提案し実施に至ったり、各地の学校内で自然林再生を行うなど、積極的な活動をしている方も多くいる。



植生工学士の人数



宮脇昭先生の研修講座



植生工学士動画

§ 3・湘南国際村「めぐりの森」植樹祭

2008年、40.9度の記録的な猛暑が襲った。横浜市では、第4回アフリカ開発会議が開催され、テーマの一つが「気候変動問題への対処」。その会議でのエネルギー利用で発生したCO2を森に吸収させる。という案だ。その手法として「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」が推奨された。レナフォは直ぐに行動を起こし2009年から2017年まで、湘南国際村の16315㎡の裸地に16回に渡り、市民活動として48328本の植樹をした。2024年9月、543トンのCO2固定量を推定。「湘南国際村めぐりの森」_二酸化炭素固定量推定_



アフリカ会議の森の看板



レナフォ動画

植樹祭名	日時	植栽面積	植栽本数	24年9月21日現在 経過年数	A	B	C	二酸化炭素 固定量(kg)
1 全国植樹祭プレ植樹	2009年5月9日	1,016 ㎡	3,048 本	9月30日 15年4ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	33,761
2 全国植樹祭/第1回めぐりの森づくり	2010年5月2日	1,667 ㎡	5,000 本	9月30日 14年4ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	55,382
3 第八回トランプの森づくり事業植樹式	2010年9月19日	500 ㎡	1,500 本	9月30日 14年0ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	16,615
4 第2回めぐりの森づくり	2010年11月13日	2,000 ㎡	6,000 本	9月30日 13年10ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	66,458
5 第3回めぐりの森づくり	2011年5月1日	2,067 ㎡	6,200 本	9月30日 13年4ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	68,674
6 植樹体験&ちびっこワークショップ	2011年9月17日	1,000 ㎡	3,000 本	9月30日 13年0ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	33,229
7 第4回めぐりの森づくり	2011年11月6日	1,000 ㎡	3,000 本	9月30日 12年10ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	33,229
8 第5回めぐりの森づくり	2012年5月13日	1,000 ㎡	3,000 本	9月30日 12年4ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	33,229
9 第6回めぐりの森づくり	2012年11月10日	667 ㎡	2,000 本	9月30日 11年10ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	22,153
10 第7回めぐりの森づくり	2013年5月6日	1,000 ㎡	3,000 本	9月30日 11年4ヶ月	Ⅲ	7.74	0.782	33,229
11 第8回めぐりの森づくり	2013年11月10日	667 ㎡	2,000 本	9月30日 10年10ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	6,125
12 第9回めぐりの森づくり	2014年5月6日	1,000 ㎡	3,000 本	9月30日 10年4ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	9,187
13 どんぐりプラザと植樹大作戦	2014年11月23日	333 ㎡	1,000 本	9月30日 9年10ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	3,062
14 第10回めぐりの森づくり	2015年5月10日	667 ㎡	2,000 本	9月30日 9年4ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	6,125
15 第11回めぐりの森づくり	2016年5月8日	667 ㎡	2,000 本	9月30日 8年4ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	6,125
16 第12回めぐりの森づくり	2017年5月14日	860 ㎡	2,580 本	9月30日 7年4ヶ月	Ⅱ	2.14	0.782	7,901
合計		16,111 ㎡	48,328 本					434,485 kg
								地下部補正 543,106 kg
引用文献	「イオンふるさとの森づくり」により創出された樹林の二酸化炭素吸収固定量の試算 吉野知明・宮内大策・藤原一繪・木下順次自然環境復元研究6(1)31-38		10年目の森(2018年) 67tCO2/ha	15年目の森(2024年) → 337.1tCO2/ha (約5倍)	33.71 kg/m ²	337.1 tCO2/ha		

暖温帯植栽: ヤブツバキクラス			
樹齢 カテゴリ	高木木1本 当たり 乾燥重量 (kg)	生存率	二酸化炭素 換算数
カテゴリⅠ	0.59	0.782	1.83
カテゴリⅡ	2.14	0.782	1.83
カテゴリⅢ	7.74	0.782	1.83

高木木1本あたり乾燥重量、生存率の根拠は吉野ら(2013)より引用
 生存率は引用文献に準じ定数とした。
 樹齢カテゴリⅠ: 1~5年
 樹齢カテゴリⅡ: 6~10年
 樹齢カテゴリⅢ: 11~15年
 樹齢カテゴリⅣ: 16~20年
 ※植栽1年未満は対象外

※乾燥重量の推定は、地上部(幹、枝、葉)を対象とする。根は含まない。
 ※根を考慮する場合は、地上部の乾燥重量の1.25倍とする。
 ※二酸化炭素換算係数
 0.5×44/12 炭素含有率50%炭素→二酸化炭素換算比

§ 4・「高尾小仏の森」植樹祭

2016年、高尾山の一角に中央高速道路小仏トンネルの掘削工事で発生した岩石の盛土場が50年以上経過し地域の社会問題になっていた荒廃地があった。ここに多くの潜在自然植生の苗木を植え、高尾陣場自然公園にふさわしい自然林を再生し、人々に愛される場所にしようと、このプロジェクトはスタートした。2017年から2023年まで6955㎡の荒廃地に7回に渡り市民活動として22111本の植樹をした。2024年9月、41トンのCO2固定量を推定。

「高尾小仏の森」_二酸化炭素固定量推定_

植樹祭名	日時	植栽面積	植栽本数	24年9月21日現在 経過年数	A	B	C	二酸化炭素 固定量(kg)
第1回植樹祭	2017年10月19日	710 ㎡	2,469 本	9月30日 6年11ヶ月	Ⅲ	2.14	0.782	7,561
第2回植樹祭	2018年9月24日	1,080 ㎡	4,000 本	9月30日 6年0ヶ月	Ⅲ	2.14	0.782	12,250
第3回植樹祭	2019年9月23日	1,044 ㎡	3,453 本	9月30日 5年0ヶ月	Ⅲ	0.59	0.782	2,915
第4回植樹祭	2020年9月27日	1,069 ㎡	3,868 本	9月30日 4年0ヶ月	Ⅲ	0.59	0.782	3,266
第5回植樹祭	2021年10月10日	1,075 ㎡	3,300 本	9月30日 2年11ヶ月	Ⅲ	0.59	0.782	2,786
第6回植樹祭	2022年9月25日	868 ㎡	2,700 本	9月30日 2年0ヶ月	Ⅲ	0.59	0.782	2,280
第7回植樹祭	2023年10月15日	699 ㎡	2,321 本	9月30日 0年11ヶ月	Ⅲ	0.59	0.782	1,960
合計		6,565 ㎡	22,111 本					33,018 kg
								地下部補正 41,273 kg
								5年目の森(2022年) 35.5tCO2/ha
								7年目の森2024年 → 41.2tCO2/ha (約1.16倍)
								6.29 kg/m ²
								62.9 tCO2/ha



§ 5・レナフォの目指すもの

二つの植樹祭で創出された樹林のCO2固定量は約584トンと試算される。今、地球環境は「待ったなし！」の状況にきており、レナフォは宮脇メソッドに基づき『気候危機のいま 自然林再生を』と、スローガンを世界に掲げる。